

令和3年6月4日（金曜日）

【参議院国交委】足立敏之議員「国が主導し空港整備を」

足立敏之参議院議員（自民党）は3日の参院国土交通委員会で、日本の空港の整備水準に対する国土交通省の見解について質問した。足立議員は、アジア諸国で空港の拡張工事がめじろ押しとなる中で「諸外国と比較して遅れを取っているわが国の空港の現状を見ると、世界に負けないよう国が主導して、しっかりと空港整備を進める必要がある」と強調した。これに対し赤羽一嘉大臣は、滑走路を増やしても「必ずしも離着陸の発着数につながるわけではない」とした上で「発着容量に着目することが重要。首都圏で言えば、羽田と成田を合わせた年間の発着容量は世界のトップクラス」と説明。ただし「これから国際競争がさらに激しくなる中で、首都圏空港のさらなる機能強化は必要だと考えている。成田空港の滑走路新設事業を着実に進めたい」との考え方を示した。



質問する足立議員

